

2020年に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症は、本学にも大きな影響を及ぼした。本学の使命を全うするために教職員も学生も、試行錯誤しながら新しい取り組みに力を注いだ。その取り組みは、日々追われて、あるいは追いかけて、まさに走りながら考えるものであり、これは今もなお続いている。その中で気が付くと、何を見、何を考え、何をしたのかが、思い出せなくなっていた。

世界史上では繰り返されてきた新興感染症のパンデミックを、歴史上の出来事としてではなく、まさに今体験しているという、稀有な時代にぶつかってしまったのである。この貴重な体験を、記録にとどめておかなければいけないのではないかな。そして、これからの感染症との共生社会での大学教育、大学運営、研究、社会貢献、すべての面に活かしていかなければならないのではないかな。思い出せるうちに、記録にとどめておくことは、これを体験した者の務めである。

そこで、本学では新型コロナウイルス感染症に関連して、新たに取り組んだことを、なるべくたくさん記録し、本学の紀要特別号として集積することとした。文字に書き起こすことは、記録になると同時に、振り返りになる。成功も失敗も含めて、次に備える材料となれば、誠に幸いである。

2020年11月25日

菱沼典子